



変化する社会の中で**自律**していく生徒の育成「みんなで100点チーム西中」

「てとてとて」

高鍋西中学校だよりNO10 令和5年12月20日 文責 花田 直樹

2年生が修学旅行に行ってきました。



11月29日～12月1日までの日程で、長崎・福岡方面に修学旅行に行ってきました。インフルエンザの感染蔓延が心配されたため、1週間前から手洗い、マスクの徹底と2年生の部活動参加自粛をよびかけました。感染の状況を注視しつつ、2学年職員と協議を重ね、当初の日程での出発を決定しました。現地では寒風が吹く寒い日もありましたが、概ね天候もよく計画通り行程を進めることができました。

～出発式 税田朱娃さんのあいさつより（抜粋）～

今日から3日間の修学旅行がいよいよスタートします。今年度の2学年修学旅行のスローガンは「仲間とともに未知の旅へ」です。このスローガンには、クラスの仲間と行く最初で最後の修学旅行をどれだけ自分たちの力で動くことができるのか、成功させることができるのか、分からない未知の修学旅行を思う存分学びながら楽しんでほしいという思いが込められています。一人一人が修学旅行で1つでも多くの経験をし、今後の学校生活や行事等に生かすことができるように、1日目の長崎では戦争によってもたらされる惨禍や核兵器への脅威への理解、世界平和について考えること。2日目にある長崎市内の自主研修では、集団の中での自分の役割を果たし、主体的に集団に参加すること。3日目に行くグリーンランドでは公共の場でのルールやマナーを学び実践すること。この3つの目的を全員が達成できるようにしましょう。多くのものを学習し学び、修学旅行を成功させます。



長崎中華街



グリーンランド

人権集会を行いました



12月7日(木)にLGBTQ当事者の方の講話を通して、性的指向や性自認についての理解と尊重を促進し、差別や偏見に対する意識を高めることを目的の一つとして人権集会を実施しました。講師は、自身がトランスジェンダー(出生時に与えられた性と自分で認識する性が一致しない)を公言されておられる宮崎県内に在住の黒木瑞季さんにおいでいただき、ご自身が体験したことや、偏見や差別に対する思いをお話しいただきました。皆んな真剣に耳を傾けていました。



～生徒の感想～ (抜粋)

- 苦しんでいる人たちのことを知らず、支えることもできず、当たり前のように暮らしてきて申し訳なく、悔しい気持ちになった。
- 講演には、苦しみがたくさんあったけど、勇気と努力もたくさん表わされていて、すごいと思った。
- 講演を聞きながら、涙が出そうになりました。また、たくさんの多様な性があることを知れてよかった
- 自分は性について理解していると思っていました。しかし今回多様な性があることを知って、知らないまま社会に出たら悩みを持っている人を傷つけてしまっていたかも知れません。
- 黒木さんの熱い講話を聞いて、自分は変わらないと行けないなと思った。
- たくさんの人の偏見がなくなり、どの性の人も幸せに生きられる時代を私も望んでいます。



門松を作っていました

12月17日(日)に毎年恒例の門松づくりを行いました。黒木清作さんご指導の下、PTA役員の方や役員以外の保護者や生徒にも協力いただき、とても立派な門松が完成いたしました。ご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。

**2023年本校の教育活動にご理解
とご協力を賜りありがとうございました。よいお年をお迎え下さい。**



